

様式 2

環境保全行動 報告提出書
自動車使用管理実施

2025 年 5 月 8 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所 氏 名 (代表者名)	〒 060-0051
	札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10
	札幌市リサイクルプラザ
	特定非営利活動法人 環境リ・ふれんず代表理事 石塚 祐江
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	

札幌市生活環境の確保に関する条例 第 1 3 条第 4 項 の規定により、環境保全行動
第 2 3 条第 3 項 自動車使用管理実施
報告書を提出します。

報 告 期 間		2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日						
事業 の 規 模	従業員数	10		人	原油換算した	11.3		kl
	使用床面積	633.5		m ²	燃料・熱・電気の合計量			
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数	1		台	
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	メタン	N ₂ O	HFC			
		27.4	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂		
		非エネルギー起源CO ₂	PFC	SF ₆	NF ₃			
	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂			
報告書の担当部署		担当部署名						
		担当者氏名						
		電話/FAX						
		電子メールアドレス						
計画書提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)				☐ 第 1 項 ☒ 第 3 項		
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)				☐ 第 1 項 ☒ 第 2 項		
計画期間		2024 年 4 月 1 日 ～ 2027 年 3 月 31 日						
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり						
備 考								

注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の 3 月 31 日現在で記入してください。

2 事業所数は、報告年度に係る年度の 3 月 31 日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。

4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律施行規則第 4 条に規定する方法により行ってください。

5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第 2 条第 5 項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

6 ☐ のある欄には、該当する ☐ 内にレ印を記入してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2024 年 4 月 1 日 ～ 2027 年 3 月 31 日

【報告期間】

2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値	目標 削減 率	2024年度結果			2025年度結果			2026年度結果		
			実績数値	削減 率	結果	実績数値	削減 率	結果	実績数値	削減 率	結果
二酸化炭素排出量の削減	なし		○	-	-						
		%		%							
資源の有効利用	なし		○	-	-						
		%		%							
廃棄物の発生抑制	なし		○	-	-						
		%		%							
市民への普及啓発	なし		○	-	-						
		%		%							
		%		%							
		%		%							

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理 由
二酸化炭素排出量の削減	-	移動はなるべく公共機関を使用し、省エネ・室内の温度調整などを実施した。 車両使用する場合は、エコドライブ・アイドリングストップを実践した。
資源の有効利用	-	施設内で発生するごみは分別し資源リサイクルを実施。
廃棄物の発生抑制	-	事業の中で使用可能なものをリユースしている。
市民への普及啓発	-	事業全てが環境に配慮した内容であり、接客から広報まであらゆる場面で啓発を実施。